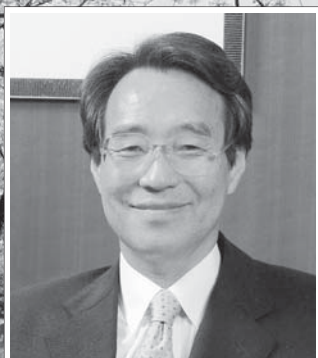




社会福祉法人 熊本いのちの電話

KUMAMOTO INOCHINODENWA

通信 51号 平成27年4月号



「熊本いのちの電話」 創立30周年を迎えて

社会福祉法人 熊本いのちの電話
理事長 福田 稔

「熊本いのちの電話」は1985年、自殺予防の電話相談として設立されました。当時、ホテル・キャッスルの社長をつとめておられた林英夫さんが運営委員長となられ、その御縁で、手取カトリック教会の建物をお借りしてスタートしたものです。設立当初は「こころの電話」との関係等、中々難しい問題もあり、御苦労が多かった様です。

1995年に法人化され社会福祉法人熊本いのちの電話となり、廣石鑑光先生が理事長に就任されました。その後、教会の事情でセンターの移転が必要となり、1999年に現在地に新会館を建設し、移転しました。全国のいのちの電話ではじめての自前の会館でした。廣石理事長は、会の運営について、経済的な問題、相談員確保の問題はじめ、様々な難問や課題をかかえておられましたが、一つ一つ丁寧に対処しておられました。私は副理事長としてお仕えしましたが、会の運営とはこういうものかと大変勉

強になりました。その廣石先生がお亡くなりになり、私が2006年に理事長に就任しました。多くの方々にお支え頂き、これまで転つ倒びつ何とか、理事長を続ける事ができました。特に、元事務局長の池田幸藏さん、夫人菖子さんには、開局前から今日まで永年にわたりお世話になっています。また、現在副理事長と事務局長をお務め頂いている赤星敦さんは、私の子供の頃からの友人で、NTTの熊本支店長やシスケンの社長をつとめられた方ですが、事務局長をお引き受け頂き、様々な改革に着手され、心から感謝しています。

今年は、創立30周年を迎え、記念事業として作家の葉祥明さんによる講演会をはじめ様々な企画を計画中です。熊本いのちの電話は、30周年を節目として、さらに飛躍すべく関係者一同、心をついにして、精進するつもりです。今後ともよろしく御支援の程お願い致します。

通信51号 目次

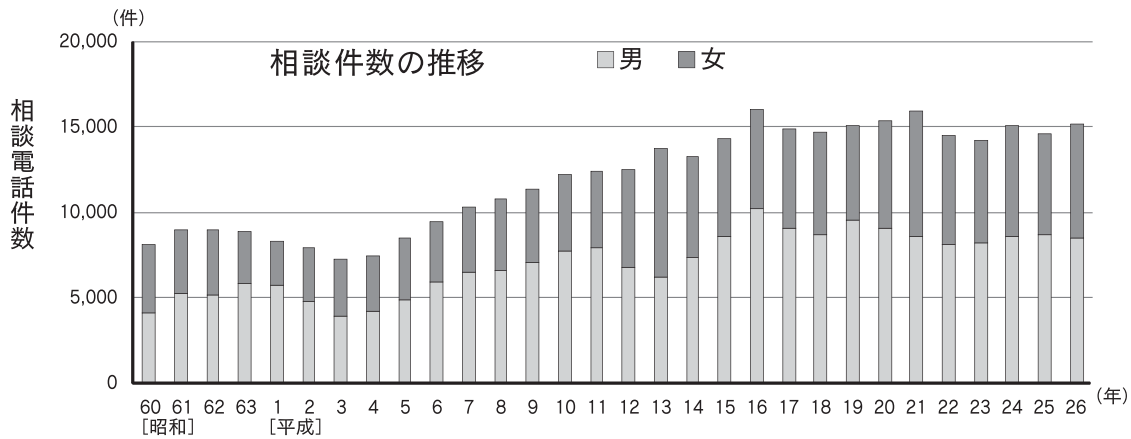
巻頭言..... P1	自殺予防公開講演会..... P3	お知らせ..... P5
電話相談件数の推移・相談者の声 P2	感謝報告..... P4	活動報告..... P6

相談電話 096・353・4343

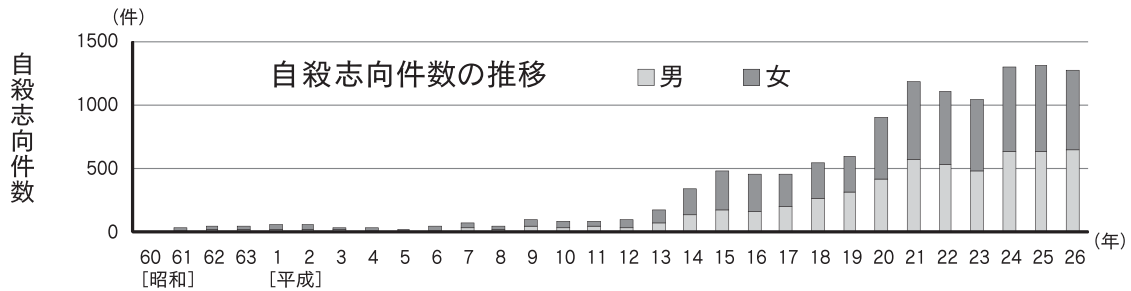
開局から30年間の電話相談件数の推移

開局から30年間の電話相談件数について簡単にご紹介いたします。

電話相談件数は開局当初は年間8千件前後ですが、8年目から年々増加し、最近の12年間は1万5千件前後で推移しています。相談件数は横ばいですが、いのちの電話につながる割合は10%で、これは10回に1回しかつながらないことを示しており、相談したい方に十分対応しているとは言えないのが現状です。



相談件数のうち自殺志向の件数は開局以来ゆるやかに増加していましたが、平成13年から急激に増加しています。深刻な相談の割合が多くなっていることを示しており、今後の推移を見守る必要があります。



相談者の声

毎日ひっきりなしに電話のベルが鳴ります。
多い日は50件近くも。
大半が苦悩を抱えている人です。
それらの中から幾つかの声を拾ってみました。

パワハラで自信をなくした
(40代 女性)

失明で人生の目標を
失った。生きるのが
きつい。
(50代 男性)

妻の言葉が心に刺さる
(40代 男性)

親父を殺して
自分も死にたい
(40代 男性)

今ひきこもり、外を歩く
のも疲れて動けない
(40代 女性)

ひとりぼっちで寂しい
(30代 女性)

「絶望の中で希望を創造する」 ～パレスチナと東日本大震災の中でみつけたもの～

講師 立野 泰博 氏

日本福音ルーテル大江 宇土教会牧師

2月28日、厚生労働省支援による公開講演会が、熊本市医師会館に於いて、立野泰博牧師を招き「絶望の中で希望を創造する」と題して開催されました。

立野牧師は、8mの分離壁に囲まれ隣町に行くにも政府の許可が要り、いつ爆撃によって命を奪われるかもしれないパレスチナを訪れ、その中で懸命に生きる子供たちと出会われました。パレスチナの命の木オリーブが、イスラエルの分離壁の建設と入植の為に、次々と倒されました。そのオリーブの木で“パンの笛”が広島で再生されました。原子爆弾で破壊され平和都市として復活した広島は、パレスチナの子供たちにとって、いつか自分たちの国も平和都市として復活するという“希望”です。明日の命も知れないパレスチナでは、絶望の中から希望を見ているのです。その“パンの笛”の音色に乗せて、子供たちの笑顔の映像が流されました。この映像の中の3分の1の子供たちが、もうこの世にはいないという話を聞き、胸が潰れる思いがしました。



そして2011年3月11日、東日本大震災が起きました。立野牧師はボランティアとして、石巻に向かいました。そこで想像を絶する風景を見た牧師は、本当にこの世には神様はいないのではないかと、思わずにはいられなかったそうです。でも、娘さんを亡くし悲しみにくれるお母さんから言われた、「牧師さんが神様はいないなんて言わないで、神様の元で娘が幸せにしていると思うから、私は生きていける」という言葉に、生き残った人々の後悔や無念を感じ、様々な宗教・宗派を越えて、宗教家の方々は臨床宗教師として、生き残った人々の寄り添い人として心のケアに努められました。そして生き残った人々も、何か人の為になる事をする事が希望に繋がると思われたそうです。

震災直後の映像が会場に流れると、会場のあちこちからすすり泣く声が聞こえました。パレスチナと東北の地、そこに共通するのは、まさに「絶望の中で希望を創造する」人達の姿でした。(M)



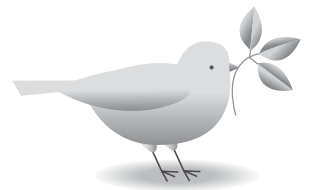
熊本県南阿蘇出身、1960年生まれ

九州学院高等学校卒業、日本ルーテル神学校卒業、

日本福音ルーテル東京教会牧師、同教会事務局長等を経て現職

熊本YMCA常議員、他役職多数

著書「おはなしがいっぱい」シリーズ・「被災地に立つ寄り添いびと」他



感謝報告

1 資金サポート 平成27年度の資金サポート会費を同封の振込用紙でよろしくお願ひします。

平成26年12月1日～平成27年3月15日までに資金サポートをいただいた方々です。ありがとうございました。

法人・団体の部

(敬称略・順不同)

アーク・リソース(株) (医)愛育会 福田病院 福田 稠 歩み法律事務所 松村 尚美 インマヌエル熊本キリスト教会 (株)魚国総本社 九州支社 NTF	おむすび太郎 高口 恵子 緒方消化器内科 緒方 一郎 九州電機工業(株) 樋口 和男 九州通信産業(株) 成松 眞 熊本市キリスト教連合婦人会 熊本第一信用金庫 熊本県吟剣詩舞道総連盟	勸熊本公徳会 光尊寺 齊藤 眞 三陽(株) 木下 康 セベ産科用品(株) 坪田 隆二 (株)たしろ住設 田代 貴久 東京エレクトロン九州(株) 及び従業員一同	日本基督教団 熊本草場町教会 錦ヶ丘教会 川島 直道 仏敵寺 高千穂哲也 森山法律事務所 森山 義文 森本法律事務所 森本 耕司
---	--	---	---

個人の部

(敬称略・順不同)

稲尾 貞臣 井上 新 井上 陽介 上田 昭八 上原 仁朗	悦 正治 江崎 弘子 岡田 洋一 小路島正臣 金子 義勝	菅 博明 木下 康 工藤 典子 鴻江友紀子 小山 和代	児玉 幸子 副島 隆 田代 妙子 長倉 瑛子 中村 絵海	中村 頌子 中原 公治 三原 裕樹 原田 敬子 檜室なおみ	開 由美子 広瀬美貴子 藤本 伸哉 堀 浩善 宮崎 文	宮崎 房子 村田 晃一 元田 克秋 山内 稔 米倉 容子	匿名
--	--	---	--	---	---	--	----

2 受賞 熊本公徳会から永年にわたる奉仕活動に対し第12回公徳賞を受賞いたしました。



熊日伊豆社長から受賞



公徳賞の盾



公徳賞受賞者記念撮影

3 募金式自動販売機

自動販売機による募金をはじめました。募金式自販機の仕組みとご協力については熊本いのちの電話のホームページをご覧ください。

設置状況



池田事務所前



菊陽レディスクリニック内

ご協力いただいている設置場所

(3月9日現在)

九州電機工業株式会社

中村整形外科

建吉組

(株)九電工

池田事務所

菊陽レディスクリニック

4 古本による寄付

読み終えた書籍による募金活動をはじめました。昨年11月から3月9日までに次の方からご協力いただきました。寄付の方法については熊本いのちの電話のホームページに掲載しています。

(敬称略・順不同)

SYSKEN／赤星 敦／生田まり子／池浦雅子／小山英文／門脇愛子／菅 経子／熊本銀行花畑支店
熊本トヨタ自動車／熊本第一信金(本社・本店営業部・尾ノ上・水前寺・武蔵ヶ丘・清水・田崎支店)
佐渡博美／佐竹信彦／竹林恵子／田中征夫／長谷川千枝子／開 由美子／平床照子／平田亮子
松本敬子／麦田政喜／村上富慈子／森田時雄／諸藤圭子／山田隆晴／山代和子／米澤洋介

30周年を想う

常務理事 池田幸藏

30年前、自殺予防を第一の目的に掲げた「熊本いのちの電話」がこの熊本の地に開局した。まだその頃は、いのちの電話の名前もその活動目的も知る人は少なく、疑いの目で見られることも経験した。加えて当時は「自殺を予防することが電話でできるわけではない！」ということが、行政を含め精神・心理の専門家でも平均的な認識だった。

しかし、いのちの電話の源流といわれるイギリスの「サマリタンズ」が、1953年ロンドンに開局し各地に拡がることに比例し、イギリスでの自殺が減少していったことから、私達は電話という限られた手段でも自殺は予防できることを信じ、1985年4月1日に「熊本いのちの電話」をスタートさせた。

現在は、全国51ヶ所のいのちの電話が7,000名の相談員と共に日夜活動している。また自殺予防に関しては、国及び民間団体の積極的な活動により、自殺者の減少がここ数年続いている。30年の時の流れを実感できることである。

この間私達は、時には自殺さえも考えてしまうところの危機にある人達の声に耳を傾け支える活動を続けて来た。一方その私達も、個人や団体の地域の方々に支えられて来たことを決して忘れてはならない。財政的な支援や人的支援、マスコミに代表される広報活動支援、数え切れない支えがある。そのことに心より感謝したい。

また、電話で相談を受けるボランティア相談員の弛まぬ努力と苦労には頭が下がる思いである。中でも第1期生としてこの30年間休むことなく電話担当を続けられてる方がおひとりおられるが、その方に心からの敬意と感謝を申し上げたい。

これからも私達の歩みは、次の節目に向け進んで行くことになるが、この社会が他者を思いやる「共生の社会」になることを願って次の一步を踏み出したい。

30周年記念式典・祝賀会

平成27年10月12日(月、祝日)

記念式典講演会会場▶森都心プラザホール

祝賀会会場▶ホテルニューオータニ

本の紹介

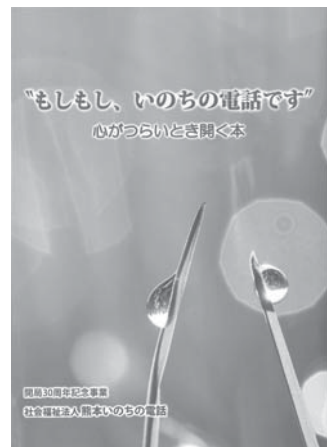
“もしもし、いのちの電話です”

心がつらいとき開く本

右の小冊子は熊本いのちの電話の開局30周年を記念し、県の補助事業として、愛知いのちの電話で作成されたものを許可を得て熊本版に複製したものです。孤独や不安感にさいなまれ、死を考えるほどに思い悩んでいる人のために、また、そのような人に接している人のために、心に沁みる言葉と写真、専門家からのメッセージ、悩みを傾聴しているいのちの電話の相談員の心情などの内容になっています。ぜひ手に取ってご覧くださいませようお願いします。

この小冊子は県内の高校や福祉機関に配布してありますが、ご希望の方がおられましたら、お分けいたしますので事務局までお申込みください。

事務局096-354-4343



新年会

1月18日(日)

於 僚華 出席者 31名

福田理事長の挨拶で始まりました。「親しく激しく議論をしながら、力を合わせて前進していきましょう」の言葉が印象的でした。各々の期、入り混じって和やかな雰囲気の中で会食。担当は28期。アイデア満載で楽しい会となりました。皆で踊った“恋のフォーチュンクッキー”は大きなはなまる。

31期生 終了式

3月10日(火)

於 熊本YMCA 12名中11名の出席

福田理事長から「ここでの知識と経験をこれからの相談員としての活動、またそれぞれの人生の中で生かして下さい」との挨拶のあと、お一人おひとりに修了証書が手渡されました。そのあとの茶話会では、修了式での緊張もほぐれ歓談のひとつきを過ごしました。4月から研修生としての1年がスタート致します。



社会資源 探訪

3月6日(金)

熊本県精神保健福祉センター 26名参加

私たちがお訪ねした熊本県精神保健福祉センターについて、保健師の方から概要・取り組みなどを説明頂き、理解を深めました。センターの谷田部医師から“精神疾患への対応”について具体的で解かりやすいお話があり、2時間があっという間だったように思います。私たちの聴き方のポイントや留意点を知ることができ、とても勉強になった社会資源探訪でした。



編集後記

“春爛漫”色彩々の花が春を待ちわびて一斉に咲き誇るこの時期に、人生のスタートを切る方も多いただろう。新年度は新入生、新社会人の姿が初々しく目に写る。きっと期待と不安を胸に抱きながら新しい一步を踏み出されることだろう。その一步が後々の確かな足取りとして、そして前方に広がるであろう未来へ向かって、自分らしい人生の道を選択しながら進んでいかれることを心から望み、応援したい。

事務局日誌

平成26年12月～27年3月

26年12月	5日	平成26年度「自殺対策官民連携協働ブロック会議」福岡にて	
27年 1月	12日	30周年記念事業実行委員会	
	18日	新年会	
	26日	研修リーダー会	
	30日	熊本県自殺対策連絡協議会	
2月	8日	いのちの電話インターネット相談員エリア研修会 福岡	
	9日	30周年記念事業実行委員会	
	14～15日		養成講座一泊研修
		23日	熊本市自殺対策連絡協議会
		28日	自殺予防公開講演会「絶望の中で希望を創造する」
3月	6日	相談員会活動社会資源探訪	
	7～8日		研修委員、研修リーダー一泊研修
		10日	第31期生養成講座修了式
	23日	理事会、評議員会	
	24日	チャリティ公演打合せ パレア	

※毎月10日 フリーダイヤル(08:00～11日08:00まで)

※第1木曜日 定例研修委員会、第2金曜日 定例運営委員会



社会福祉法人 熊本いのちの電話

事務局

〒860-8691 熊本中央郵便局私書箱155号
TEL096-354-4343

発行人:福田 稔 編集:広報委員会

熊本いのちの電話

検索